

視点・論点

6月定例会

6月定例会において、各常任委員会及び特別委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務委員会

当委員会付託の議案三件、報告一件の審査結果報告を致します。
第三五号議案、平成十六年度一般会計補正予算(第一号)は歳出として不登校児童対策百五万六千円等の二千三百三十一万九千円を増額し、三百四億三千五百十八万四千円に補正するものです。

第四〇号議案は、福岡都市圏競艇等事業組合の事務所的位置変更に伴う規約の一部改正に関し、関係市町との協議のための提案です。

報告第五号、専決処分平成十五年度一般会計補正予算(第九号)は、歳出として繰上償還元利金一億三百九十九万二千円を増額し、二百八十三億三千八百四十七万八千円に補正するものです。

第四四号議案は、第十二小学校用地選考審議会条例を廃止することに伴って、特別職の職員の報酬等に関する条例を廃止するものです。

以上四件について原案のとおり可決・承認致しております。

文教委員会

付託議案四件を審査、陳情一件を論議した。議案三件は春日西小学校の過大解消のため学校分離新設に関連したものである。第四一

号議案、財産の取得については、新設小学校建設用地として、地積二万三千二十八・三五平方メートルの土地を、取得価格七億二千三百四十二万二千二百円で取得するものである。用地取得経緯・溜池審議会

や通学区域審議会との関連、工期日程・周辺住民への説明・児童数の推移・雨水対策等について慎重に審査した。委員会では先に春日西小学校を訪問視察し、実態調査した。将来を担う子ども達により良い教育環境を提供することは行政の責務であり、厳しい学習環境で困っている児童の不利益解消は最優先すべきという点で一致し、雨水対策と自然環境保全に配慮した学校建設に向けても努力するよう要望した。第四二号議案は新設小学校の名称を春日市立白水小学校とするものである。

厚生委員会

全議案原案どおり可決した。

委員会に付託された議案二件と報告案件四件は、全員賛成で承認可決した。平成十六年度老人保険事業特別会計補正予算(第一号)については昨年概算で交付された医療費交付金の返還金を一般会計より繰り入れて支払いを行うものです。

次に、保育所における幼児の負傷事故に伴う損害賠償の額の決定

については、十九年前に保育所内で起きた負傷事故で、被害者は年齢とともに症状も固定化してきたので補償を終了することの申し出があり、示談が成立した。この補償は全国市長会保険で賄われる。

報告四件の内三件は地方税法が改正になり、春日市税条例の改正を余儀なくされ専決処分されたものです。今改正は老年者控除の廃止や生計同一の妻に対する非課税の廃止など市民生活に多大な影響を与える条例の改正であり、地方自治体議会でも充分に審議できる期間がほしいなどの意見がだされた。

建設委員会

今期定例会で付託を受けた議案は三件であった。

まず、第三四号議案、春日市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定については、退職報償金の額を団長から団員まで階級、勤務年数にかかわらず一律に二千万円アップさせる内容で、全員が原案に賛成し可決した。第三七号議案、市道路線の廃止については、起点及び終点を変更するため、路線を、一旦廃止するもので全員が承認することに賛成した。

第三八号議案、市道の認定について「は現地調査を行うなど、二二路線の認定について審査をした。

行き止まり状態になっている第一二一四号路線においては、回転場所が十分確保されていないが、その確保に努力中であること、道路用地の大半が寄付採納を受けて三十年が経過している等を考慮し、全員が原案を承認した。

春日原駅前線道路整備事業に関する調査特別委員会

四月十五日は、楼苑ビル再鑑定の結果について論議しました。再鑑定額は、契約額より約三千四百万円上回っていましたので分析を行うことを確認しました。また森前首相に対する照会文の確認も行いました。

五月十七日は、再鑑定の分析に基づく報告を受け、鑑定業者の聴取は必要ないことを確認しました。森前首相から照会に対する回答が寄せられました。回答書では、春日市長に対し、直接的にも、間接的にも、何らのはたらきかけをしたことは一切ありません。パーティー券は、毎年継続的に購入していただいています」という内容でしたが、この二点については、マスコミ報道や委員会の調査と相違するため再度の照会を行うことを決定しました。